

最新情報

Google Apps

2016 年 4 月



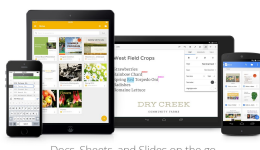
注目の機能: 外出先でも会議の時間を探せる機能 (Android 版 Google カレンダー)

[Android 版 Google カレンダーの「時間を探す」機能で効率よく会議をスケジュール](#)



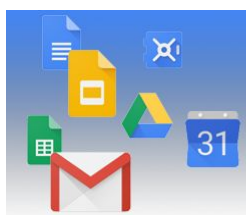
共同作業を効率的に

[Google Chrome の Google ドライブ通知を使用して迅速に応答する](#)



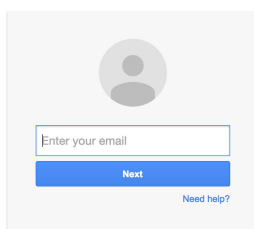
場所を選ばず作業できる

[iPhone や iPad で Google ドキュメントをすばやくスクロール](#)
[Android 版および iPhone 版 Google カレンダーにゴール機能を実装](#)
[Android 版 Google ドライブのインライン アップロードを使ってフォルダに直接アップロードする](#)
[Android 端末の Google スプレッドシートにおけるグラフ操作性の向上](#)
[Android 版 Gmail アプリで Microsoft Exchange® への対応を開始](#)



シンプルに利用可能

[ウェブ版 Google カレンダーのリマインダー](#)
[Google ドライブ プラグイン for Microsoft® Office を更新: Outlook をサポート](#)
[Mac / Windows 版 Google ドライブに必要なサブフォルダだけを同期するなどの機能を追加](#)
[オフラインでアクセスしたい Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドが選択可能に](#)
[数式バーのサイズ変更で Google スプレッドシートの表示や入力が快適に](#)



ビジネス対応

[教育機関や組織がもっと YouTube を管理できるようになりました](#)



Google Apps についてのその他のお知らせ

[Google for Work Connect \(GWC\) : Google Apps 管理者のコミュニティ](#)
[YouTube の The Apps Show](#)
[Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画](#)

より良いニュースレターをお届けできるよう、[ご意見](#)をお聞かせください。

-Google Apps チーム
2016 年 5 月 2 日

注目の機能: 外出先からでも会議のための「時間を探す」機能を追加（Android 版 Google カレンダー）

Android 版 Google カレンダーの「時間を探す」機能で効率よく会議をスケジュールリング

リリース日: 2016 年 4 月 27 日

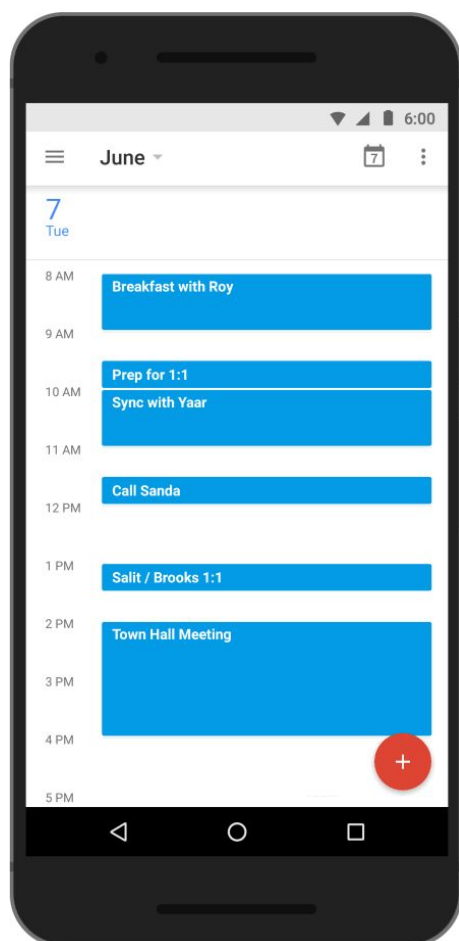
 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: スマートフォンの登場により、時間や場所を問わず高い生産性を実現できるようになりました。会議の議事録を見たり、電話会議に参加したり、メールを送るといった作業は、今やオフィスのデスクから離れた場所でも簡単に行うことができます。しかしながら、会議をスケジュールするためには、パソコンを開き参加者全員の予定を確認して空き時間を見つけ出す必要があるため、外出先で行うのは依然として困難でした。

そこでこのたび、企業および教育機関向けの Google Apps の Android 版 Google カレンダー アプリに、会議のための空き時間を見つける [時間を探す] 機能が追加されました。

下図のように、1 タップで参加者全員のタイムゾーンや勤務時間を考慮した空き時間が提示されます。万が一全員の空き時間が一致しない場合は、どの予定を変更するのが最も容易かをカレンダーが判断します。なお、[本機能を利用する](#)には、組織内で同僚とカレンダーを共有する設定にしておくことをおすすめします。



上図のように、「時間を探す」機能によって提示された候補のいずれかをタップして選択すると、参加者全員のスケジュールが一覧できます。また、ある特定の人のカレンダーを操作する権限を持っている場合は、代理で会議を設定することも可能です。

[Android 版 Google カレンダー](#)をダウンロードして、外出先での会議の設定を簡単にしませんか？なお、本機能は iPhone 向け Google カレンダー アプリにも、今後追加される予定です。

詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

共同作業を効率的に

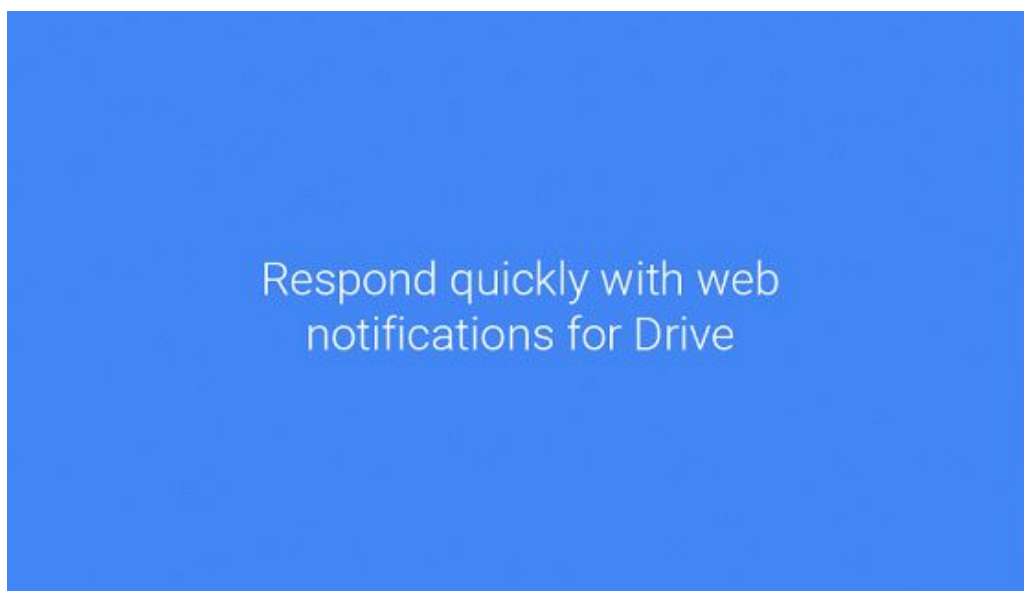
Google Chrome の Google ドライブ通知を使用して迅速に応答する

リリース日: 2016 年 4 月 25 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

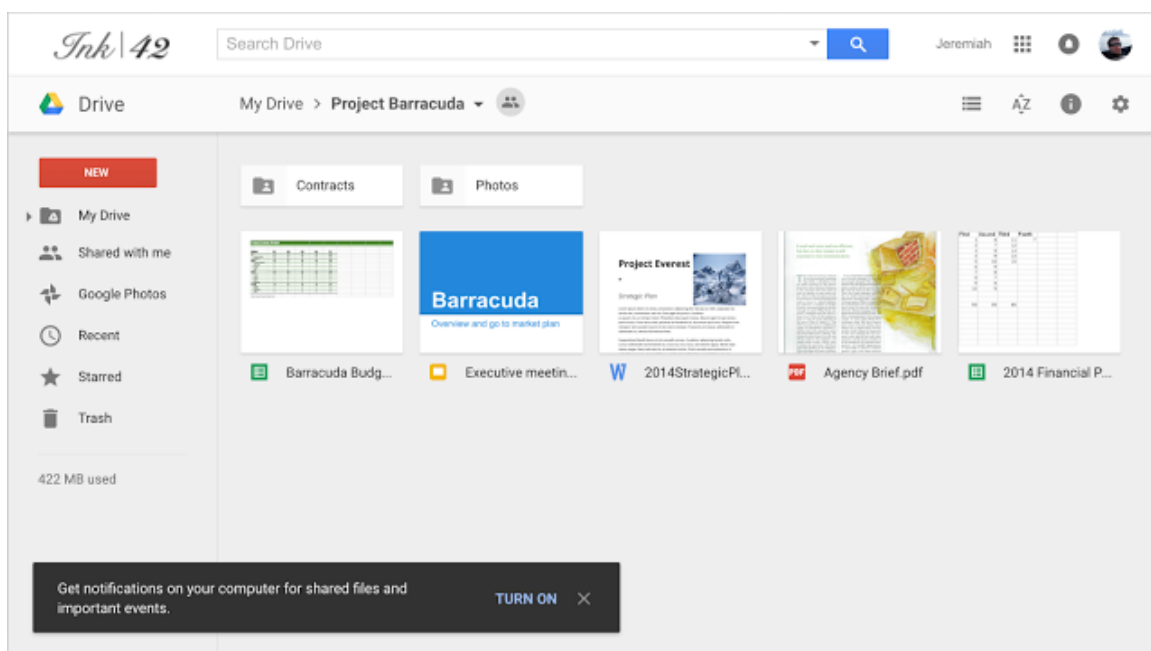
最新情報: 同僚が Google ドライブ ファイルを共有したり、ファイルへのアクセス権をリクエストしたりすると、Google ドライブによりウェブ通知が行われるようになりました。これは、昨年 Android 版と iOS 版でローンチされた通知機能と連携するものです。



以下にご注意ください。

- ユーザーが通知の受け取りに同意している必要があります
- 本機能は、Google Chrome ブラウザの使用時のみ有効になります
- ユーザーは、端末ごとに通知を受け取るかをどうかを制御できます

ユーザーにこれらの通知機能を周知するため、Google ドライブのドキュメント一覧の左下に、本機能を有効にするためのリンクと機能の概要が表示されます。



通知機能について詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

場所を選ばず作業できる

iPhone や iPad で Google ドキュメントをすばやくスクロール

リリース日: 2016 年 4 月 6 日

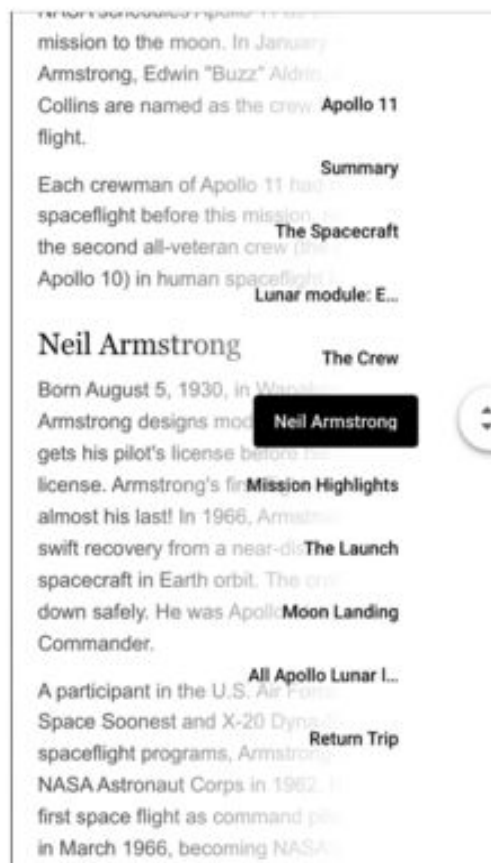
組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 3 月に Android 搭載のスマートフォンやタブレットで Google ドキュメント ファイルを迅速かつ簡単にスクロールできる機能を[ローンチ](#)しました。

使い方: このたびのローンチでは、同じ機能が iOS 端末にも追加されました。現在は、iPhone や iPad 上で Google ドキュメントをスクロールし始めると、小さなナビゲーションハンドルが画面脇に自動的に表示されます。ハンドルをタップすると自身で作成した見出しもしくは、手動で作成していない場合は、自動的に検出された見出しが表示されます。これにより上下にスワイプせずに、セクション間を迅速に移動することができるようになります。

本機能の使用方法については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。また、[Google ドキュメントアプリ](#)は [App Store](#) からダウンロード可能です。



Android 版および iPhone 版 Google カレンダーにゴール機能を実装

リリース日: 2016 年 4 月 13 日

組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: カレンダーを開発した最大の目的は、ユーザーが最大限に時間を有効活用できるようにすることです。それを実現すべく、このたびのローンチでは、ユーザーが個人的な活動に時間を割くことができるように Android 版と iOS 版の Google カレンダーに [ゴール] と呼ばれる新しい機能を実装しました。この機能を使用すると、ユーザーはゴールを追加できるようになります。カレンダーで空き時間がわかるため、ゴールに集中できるようになるというものです。

ゴールの設定は簡単

たとえば、「もっとトレーニングをする」といったゴールを設定するとしましょう。その場合、いくつかの質問（[頻度]、[都合の良い時間] など）に答えるだけで、ゴールの設定は完了です。そこからカレンダーがユーザーの予定を確認し、ゴール達成のため最も良い時間帯を見つけ、予定を入れてくれます。Google カレンダーで作成されたゴールは、デフォルトのカレンダー設定と同じプライバシー設定になります。

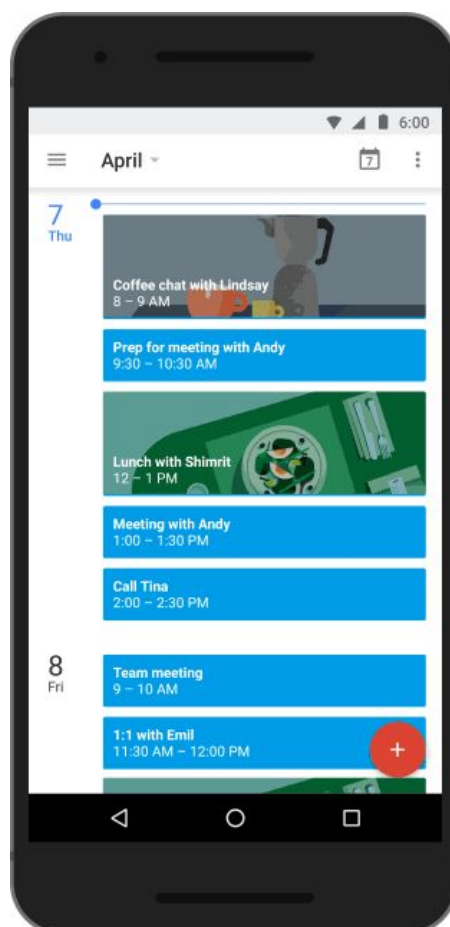
忙しい生活に合わせて調整

ゴールを達成するのは簡単なことではありません。予想外の出来事が発生した場合は特に難しくなります。ですがカレンダーを使用すれば、さまざまな点を考慮して自動的に調整してくれます。たとえばユーザーが別の予定を追加し、それがゴールと重複している場合、カレンダーが予定を自動的に組み直します。ゴールは自由に延期することができ、新しい予定に沿ってカレンダーが適宜時間を作ってくれます。

ゴールが延期されたり編集されたりすると、カレンダーは今後より良い時間を選択するようになり、最終的にはこれまでよりもうまくスケジュール設定するようになります。

注: 現在のところゴールから作成された予定は、端末に同期される予備のカレンダーやその他の個人カレンダーを考慮していません。

詳しくは、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。Android 版または iPhone 版の Google カレンダー アプリをダウンロードしてご利用ください。



Android 版 Google ドライブのインラインアップロードを使ってフォルダに直接アップロードする

リリース日: 2016 年 4 月 14 日

組織で共有

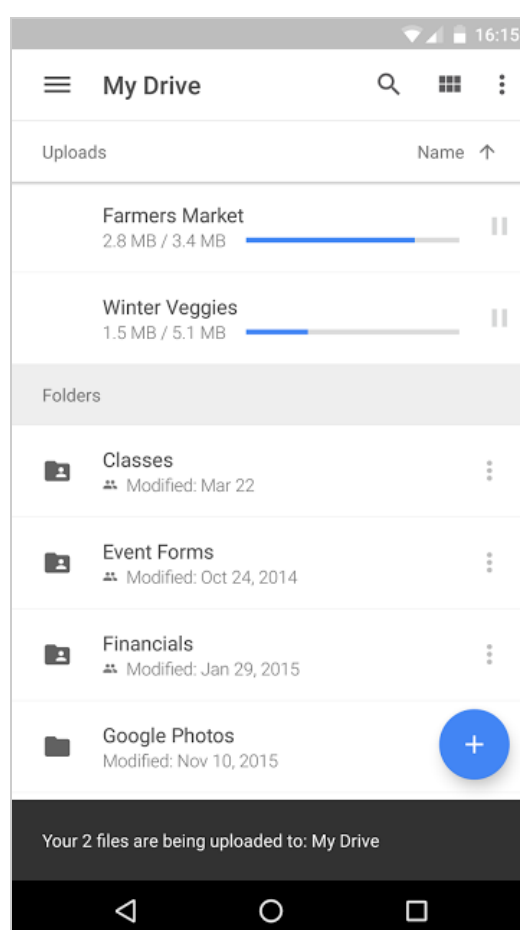
[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Android 版 Google ドライブ アプリの新しいバージョンが Google Play で利用できるようになりました。新機能は以下のとおりです。

インラインアップロード: Google ドライブにファイルをアップロードする場合、これまで移動先フォルダではなく [アップロード] フォルダに送信されていました。

今後はファイルをアップロードすると、アップロードの進捗を表すインジケーターと共に、移動先フォルダ内にファイルが表示されます。

[Google Play](#) で最新の Android 版 Google ドライブ アプリを入手

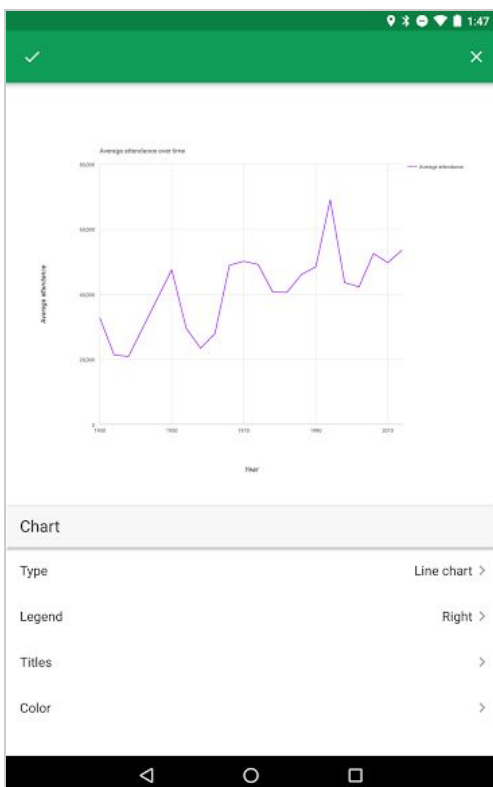


Android 端末の Google スプレッドシートにおけるグラフ操作性の向上

リリース日: 2016 年 4 月 20 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)



最新情報: このたび、Android 版 Google スプレッドシート アプリで、グラフの挿入、種類の変更、移動、サイズ変更および削除ができるようになりました。これにより、新たに以下の操作も行えるようになりました。

- グラフタイトルの追加や変更
- グラフの X 軸および Y 軸ラベルの追加や変更
- グラフ内の一連の色を変更
- グラフ凡例の表示位置を指定

Android 版スプレッドシート アプリでのグラフの作成や編集については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Android 版 Gmail アプリで Microsoft Exchange® への対応を開始

リリース日: 2016 年 4 月 13 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Microsoft Exchange で二重配信のメールフローやカレンダーを使用しているユーザーに対応するため Android 版 Gmail アプリを更新しました。

Google Apps か Microsoft Exchange かにかかわらず、どの Android 端末上でも Gmail アプリを使用してメールの送受信を行えます。

[Google Play で最新の Android 版 Gmail アプリを入手](#)



シンプルに利用可能

ウェブ版 Google カレンダーのリマインダー

リリース日: 2016 年 4 月 5 日

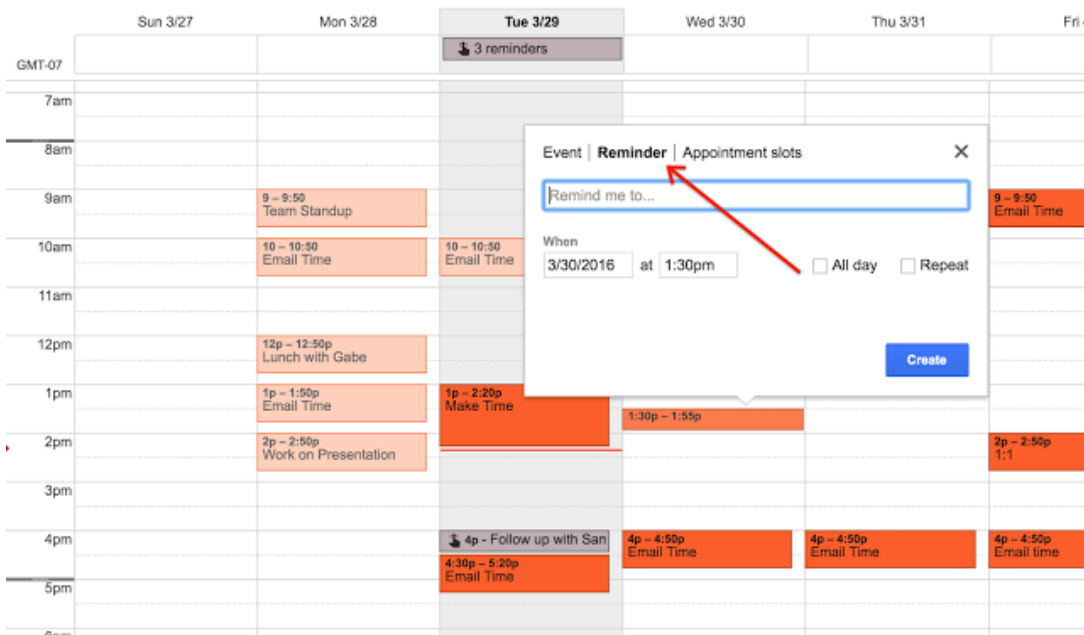
組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

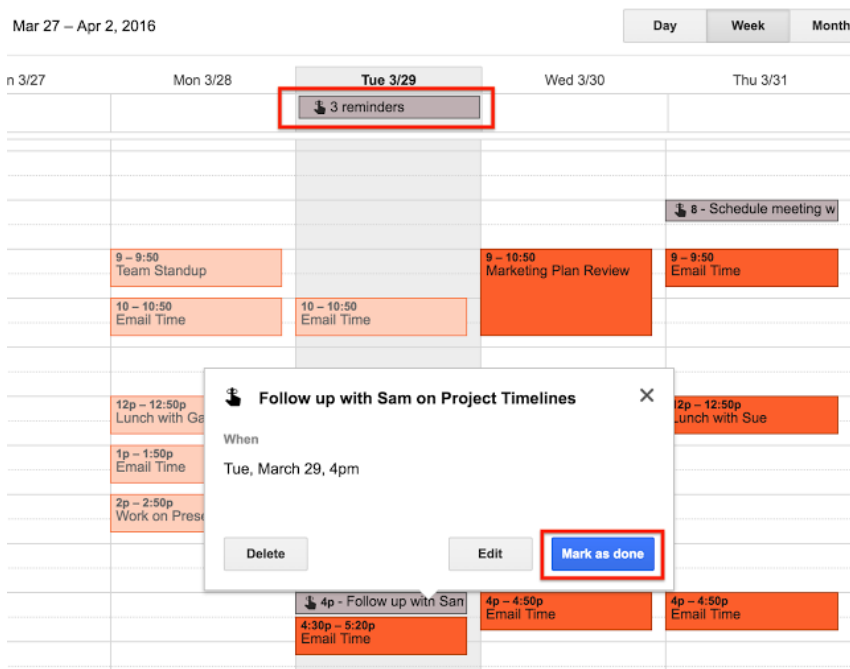
最新情報: 昨年、iOS 版と Android 版 Google カレンダー アプリにリマインダー機能をローンチしました。そして今回ウェブ版の Google カレンダーにもリマインダー機能を実装しました。

主な機能は以下のとおりです。

- リマインダーを特定の日時に設定すると、その時間に通知を受け取ります。リマインダーを作成するには、カレンダーの時刻枠をクリックして、[リマインダー] を選択します。



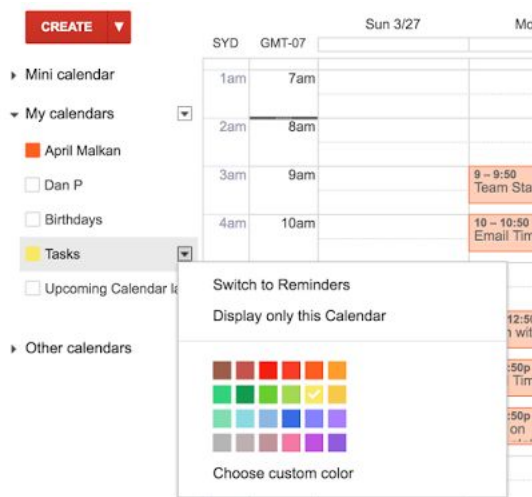
- リマインダーは、完了するまで翌日に繰り越されます。リマインダーを完了するには、リマインダーをクリックして [完了とする] をクリックするだけです。



- Google アプリ、Keep、Inbox で作成されたリマインダーも Google カレンダーに表示されます。
- ウェブ版のリマインダーは、Android 版と iOS 版 Google カレンダー アプリにも同期されます。

以下にご注意ください。

- リマインダーはカレンダーのオーナー個人用です。カレンダーを他のユーザーと共有していても表示されません。
- Google ToDo リストのユーザーは、リマインダー機能の使用を促されませんが、[ToDo リスト] カレンダーのプルダウン メニューから有効化できます。



詳細については[ヘルプセンター](#)をご覧ください。ウェブ版のリマインダー機能は、計画的リリース方式で5月初めにユーザーに提供されることにご留意ください。

Google ドライブ プラグイン for Microsoft® Office を更新: Outlook をサポート

リリース日: 2016 年 4 月 6 日

組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: 昨年7月、Google ドライブ プラグイン for Microsoft® Office をローンチしました（英語）。このプラグインにより、Windows 版 Office を使用しているユーザーが Google ドライブに保存している Word、Excel、PowerPoint ドキュメントを開き、変更後に Google ドライブに戻って保存する操作がとても簡単になりました。このたび、このプラグインの機能が Outlook でも利用できるようになりました。

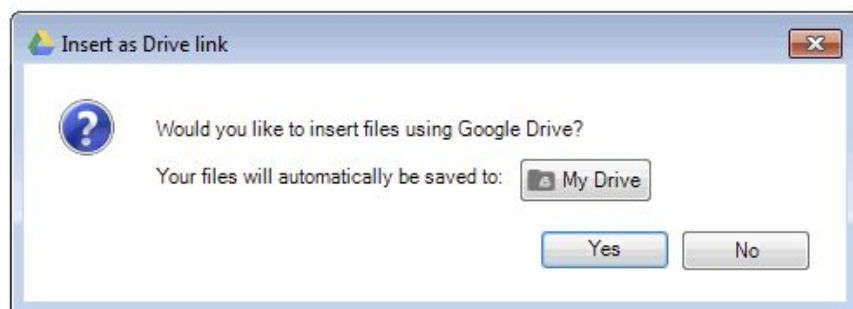
Windows 版 Outlook からは、次の操作が可能になります。

- Google ドライブを使用してファイルを挿入: ローカルに保存しているファイルを Google ドライブにアップロードすると同時に、共同編集者に Outlook でリンクを送信できるようになりました。組織で [Google Apps Sync for Microsoft® Outlook](#) を使用している場合や、別のメール プロバイダで Outlook を使用している場合、特に有用です。

Attach your Drive files
directly from Outlook



Outlook から Google ドライブのファイルを送信



ローカルのファイルを Google ドライブにシームレスに保存

- 共有権限の更新: Outlook でメールを作成しながら、Google ドライブに保存してあるドキュメントのリンク（または実際のドライブ ファイル）を挿入し、メールの送信前にアクセス権をカスタマイズできるようになりました。受信者にドキュメントを共有する必要がある場合、このプラグインはドキュメントの許可を送信者に表示することができるようになっています。

Update sharing permissions directly from Outlook



Google ドライブ内のファイルのアクセス権を Outlook から直接変更

- **受信した添付ファイルを Google ドライブに保存:** 受信メールにファイルが添付されている場合、Outlook ユーザーには新しい [添付ファイルをドライブに保存] オプションが表示され、添付ファイルを直接 Google ドライブに保存できるようになります。これによりローカル ストレージに添付ファイルをダウンロードし、Google ドライブにアップロードし直していた時間を節約できます。

Save email attachments to Drive directly from Outlook



受信した添付ファイルを Google ドライブに同期

制限

Google ドライブ プラグイン for Microsoft Office は、Windows 版 Microsoft Outlook（2007、2010、2013、2016 バージョン）と Office 365（Office 365 を定期購入して、パソコンに Microsoft Outlook をダウンロードしインストールしている場合）に対応しています。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

Mac / Windows 版 Google ドライブに必要なサブフォルダだけを同期

リリース日: 2016 年 4 月 14 日

 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: Mac / Windows 版 Google ドライブは、Google ドライブとパソコンを同期するアプリで、どこからでも安全にファイルにアクセスできるようにする最も簡単な手段です。このローンチでは、同期および共有エクスペリエンスを改善し、さらに高速化も実現した新機能をリリースしました。

パソコンに同期するサブフォルダを選択

最上位のフォルダを同期することはもともと可能でしたが、このたび、マイドライブのどのサブフォルダからパソコンに同期するかを選択できるようになりました。同期するには、**[設定] > [同期オプション] > [これらのフォルダのみ同期]** の順にクリックします。ここで Google ドライブのサブフォルダの一覧が表示されるので、同期するフォルダのボックスをオンに、同期しないフォルダをオフにします。

Sync subfolders with
Drive for Mac/PC



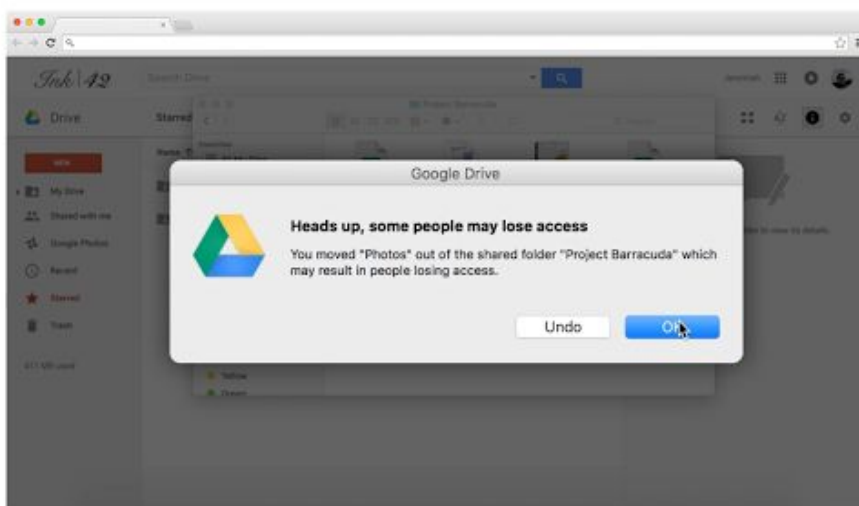
ローカルストレージを透過的に管理

大容量の Google ドライブに対し、ローカルのパソコンには同様の空き容量がない場合もあるでしょう。そこで、ドライブのインターフェースに、個人のサブフォルダサイズとパソコン上の残り容量が表示されるようになりました。同期に十分な容量がない場合は警告が表示されます。

さらに、設定中デフォルトのフォルダが適切でない場合、最初からストレージ容量を適切に管理できるようにするため、選択的な同期を案内されます。

共有ファイルの削除や移動の前に警告を表示

パソコンでフォルダを使って作業している場合、移動や削除は難しくありません。ですが共有ファイルや共有フォルダで同じ作業をすると、共同編集者がアクセスできなくなる可能性もあります。そこで他のユーザーがアクセス不可になる場合、ドライブが警告を表示するようになりました。



使用前に Google Apps 管理者は、ユーザーの Google ドライブ同期クライアントの使用を許可するかどうかを管理コンソールから選択する必要があります。

- 本機能の有効化 / 無効化の手順については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。
- Windows ユーザーの代わりにプログラムをインストールするため MSI ファイルを管理している場合は、[ヘルプセンター](#)にアクセスし Windows 版 Google ドライブの .msi ファイルを入手してください。

改良版の Windows 版 /Mac 版の Google ドライブ同期クライアントは、[ヘルプセンター](#)からご利用いただけます。

オフラインでアクセスしたい Google ドキュメント、スプレッドシート、スライドが選択可能に

リリース日: 2016 年 4 月 18 日

👤 組織で共有

[- トップへ戻る -](#)

最新情報: インターネット接続を常に確保するのは難しい場合がありますが、インターネット接続がないことが理由で従業員の業務遂行が妨げられる事態は防ぎたいものです。そのような理由から Google Apps 管理者には、ユーザーに対し Google ドキュメント、スプレッドシート、スライド ファイルへの[オフライン アクセスを可能にするオプション](#)が提供されています。個々のユーザーが Google ドライブで[オフライン アクセスを有効にすると](#)、ドキュメント、スプレッドシート、スライド ファイルの一部がユーザーのパソコンやデバイスに同期されます。同期される特定のファイルは、一定の基準（主に最新性）に基づいています。

今回のローンチにより、デスクトップパソコン上の Chrome ブラウザで作業する場合、エンドユーザーはオフライン アクセスを利用したい特定のファイルを選択できるようになりました。これによりインターネット接続が確保できない場合でも、個々のユーザーが場所や時間を問わず作業しやすくなります。ファイルをオフライン アクセスで利用できるようにするには、ユーザーがドキュメント、スプレッドシート、スライドのホーム画面にアクセスし、ファイルのオーバーフローメニューで [オフラインで使用できるようにする] をオンにするだけです。



本機能は、デスクトップパソコンで Chrome ブラウザを使用しており、かつ管理者がユーザーに対しドライブのオフラインアクセスを有効にしている場合にだけ利用できますのでご注意ください。

詳細については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

数式バーのサイズ変更で Google スプレッドシートの表示や入力が快適に

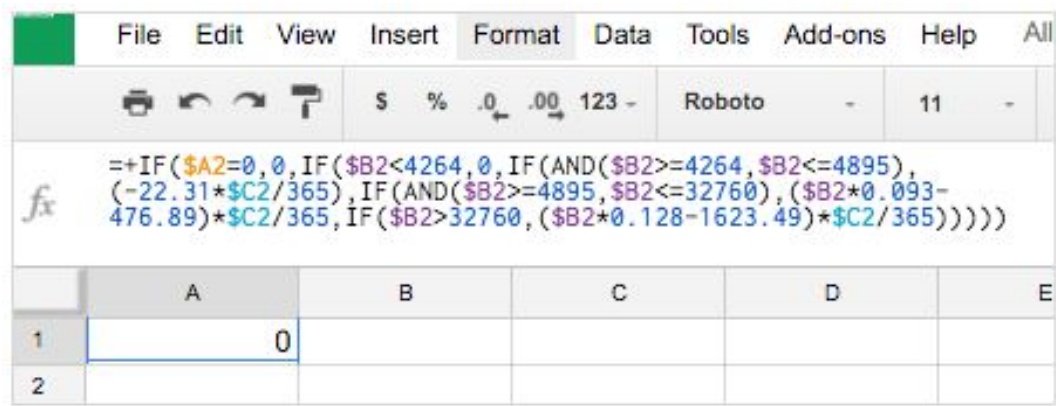
リリース日: 2016 年 4 月 25 日

 組織で共有

- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 長く複雑な数式を扱う仕事は、それだけでとても大変です。数式を読むのに苦労することもしばしばあります。今回のローンチにより、ウェブ版 Google スプレッドシートの数式バーをドラッグし拡張することで、非常に長い数式の表示と入力がより簡単になります。

スプレッドシートに対し付与されている権限が閲覧やコメントだけの場合、これまでセルに入力されている大量の文字列の内容を読むのは難しいことでした。このローンチにより、数式バーの下部をクリックし上下にドラッグするだけで、数式バーのサイズを変更しすべての内容を表示できるようになります。



Google スプレッドシートの数式での作業については、[ヘルプセンター](#)をご覧ください。

ビジネス対応

教育機関や組織がもっと YouTube を管理できるようになりました

リリース日: 2016 年 4 月 26 日

★ 管理者向けの機能

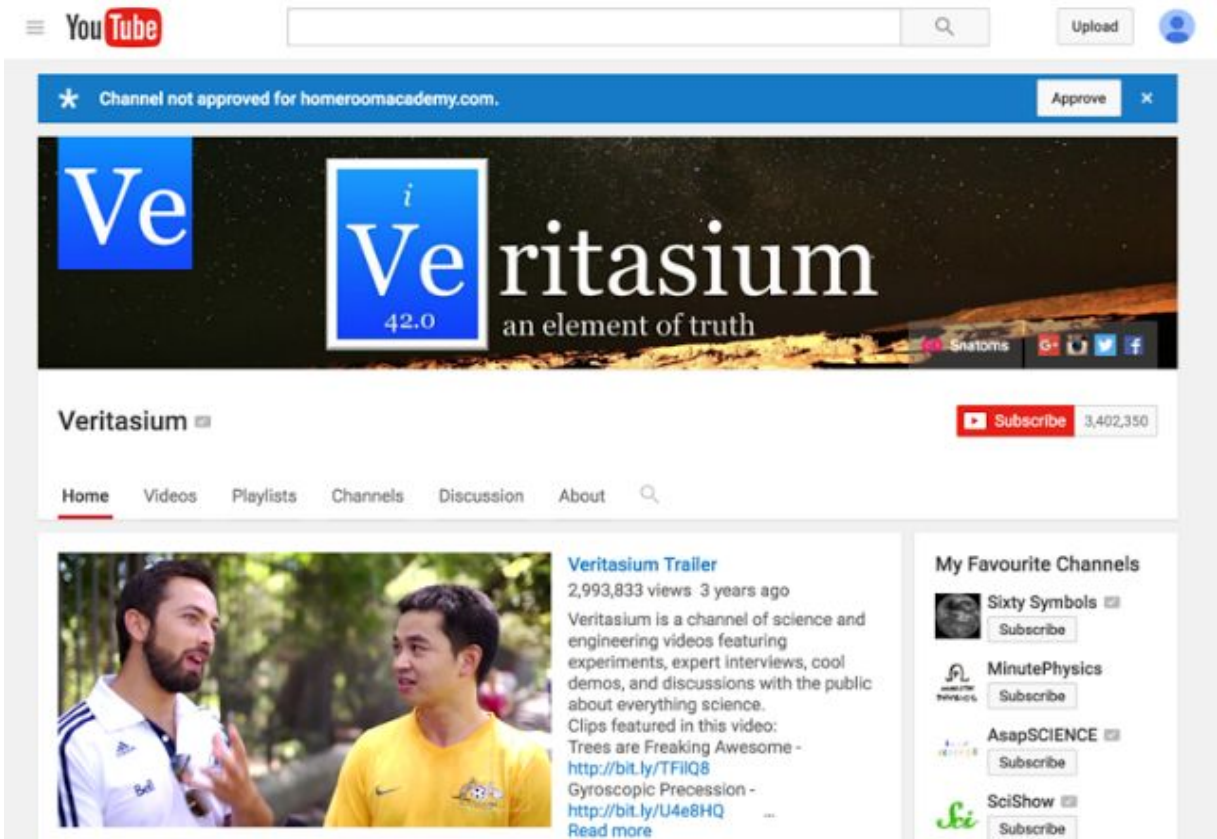
- [トップへ戻る](#) -

最新情報: 2015 年 8 月 [Google Apps で YouTube を設定する機能をローンチ](#)し、自身のドメインや組織で管理するネットワークにログインしたユーザーの YouTube 利用環境を制限する方法を、教育機関やその他の組織に提供しました。このローンチでは、いくつかの新機能を発表し、より柔軟かつ簡単に使用できるようになります。

チャンネルのホワイトリスト登録

管理者と指定された承認者は、個別の動画だけでなくチャンネル全体をホワイトリスト登録できるようになりました。たとえば、組織や教育機関のチャンネルにアップロードされた現在および今後すべての動画をユーザーが確実に

視聴できるようにしたい場合、承認リストにチャンネル全体を追加するだけです。詳しくは、[承認者の指定方法](#)についてのページをご覧ください。

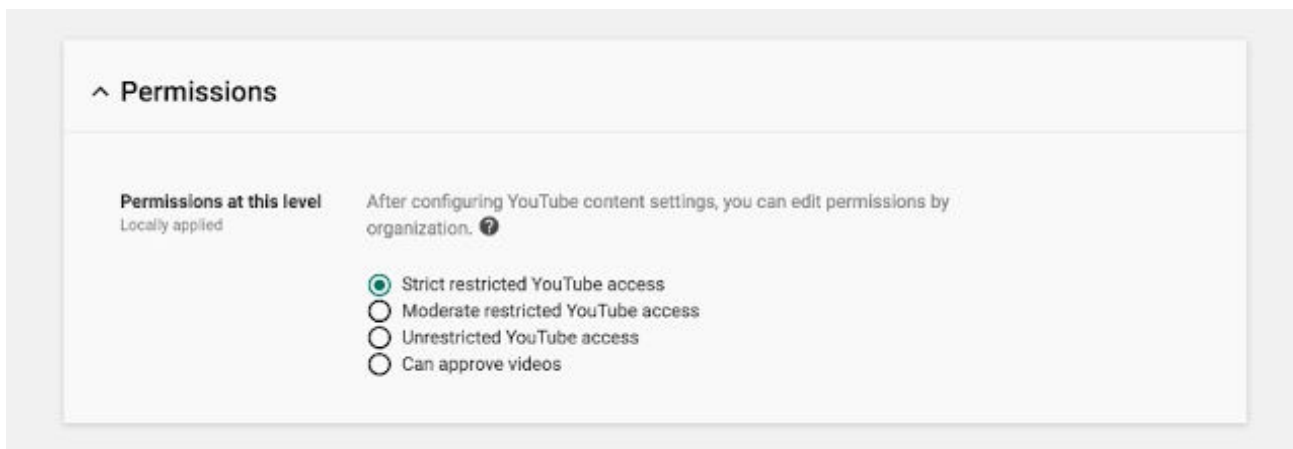


ユーザーは、Google Apps for Education の YouTube 設定によって Veritasium のような教育的な YouTube チャンネルの動画には既にすべてアクセスできていますが、このたびドメインの動画承認者が、学校の YouTube チャンネルなど他のチャンネルも追加できるようになりました。

管理者向けのより柔軟なオプション

組織のニーズに応えることができるように、管理者の YouTube 管理を支援する新しい機能を実装しました。

- 管理者はログイン ユーザーに対し、2 つのレベル（高または中）から制限付きモードを[選択](#)できるようになりました。



管理者は YouTube に対し、高または中の制限レベルを選択できます。

ネットワーク管理者は、HTTP ヘッダーを使用して管理対象の端末に高制限モードまたは中制限モードのいずれかを適用できるようになりました。

- ネットワーク管理者は、組織が管理する Wi-Fi ネットワーク上に中制限モードを適用したい場合、新しい DNS 設定を使用できるようになりました。
- 制限されたネットワーク上で YouTube のモバイルアプリからログアウトしたユーザーは、制限された利用環境になります（近日実装）。
- 設定には注意が必要なため、ネットワーク管理者はこのページにアクセスし、ネットワーク制限が適切に構成されていることを確認してください。

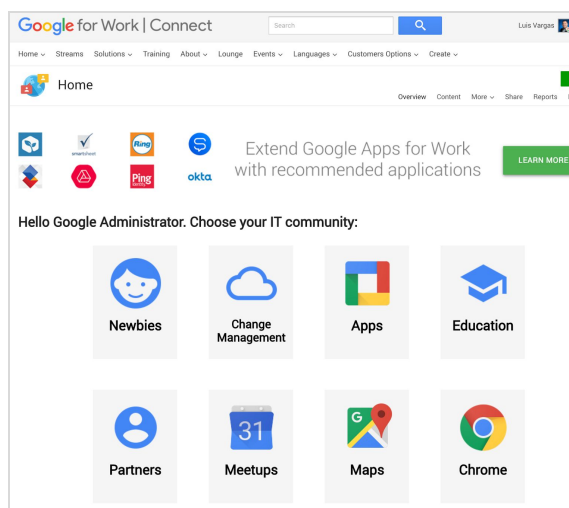
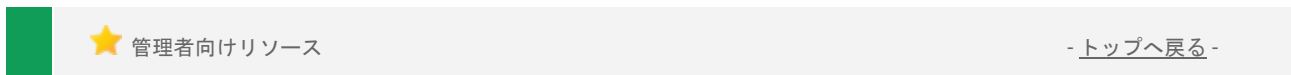
教育機関向けの YouTube

8 月に、YouTube for Schools (YT4S) の保守を継続しないことをお知らせしました。2016 年 7 月 1 日より YT4S はご利用いただけなくなります。詳細については、Google Apps での YouTube の設定をご覧ください。

Google Apps ドメインに YouTube の設定を有効にする方法をご覧ください。また、プロダクト フォーラムからぜひ ディスカッションにご参加ください（英語）。

Google Apps についてのその他のお知らせ

Google for Work Connect（GWC）：Google Apps 管理者のための公式コミュニティ

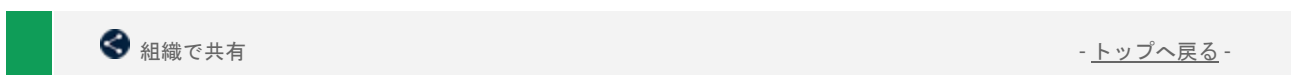


今すぐログイン: Google for Work Connect（GWC）には、Google Apps で仕事をより進めやすくするためのあらゆるリソースが揃っています。今すぐログインして、おすすめの Apps 使用法についてのディスカッションや質問と回答など、他企業の IT 管理者や Google 社員との情報交換を始めましょう。今がチャンスです。コミュニティ マネージャーの Luis Vargas をフォローすると、最新情報を毎週入手できます。

最新情報: 4 月に第 2 四半期エディトリアル カレンダーを発表し、「紙文書をドキュメントに変換する（英語）」、「スライドのアクションアイテムに名前リンクを使用する（英語）」、「Chromebit でテレビをデジタルサイネージに変える（英語）」など 4 つの新しい活用例をご紹介しました。

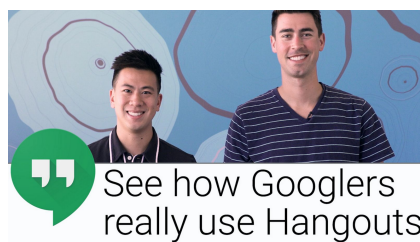
また、Kim Wylie がお届けするインタビュー シリーズでは、Virginia Commonwealth University の Marie Scott が「大学に変化を起こしツール導入を進めるための方法（英語）」について語ってくれました。5 月には、ビデオハングアウトに最適な帯域幅の設定、モバイル端末からのプレゼンテーション、Android for Work の利用方法をご紹介予定です。ぜひご覧ください。

すべての Google Apps のお客様向け: The Apps Show を YouTube で毎週火曜日午前 11 時（米国太平洋標準時）に公開



最新情報: The Apps Show は、4 月までに YouTube で 250 万回近くも視聴いただきました。視聴者の皆様ありがとうございます。4 月にはシーズン 8が始まり、共同作業や業務の効率化、クラウドをより活用するための方法をお届けしています。

特にご覧いただきたいのは、Google Apps を使った業務や共同作業をオフラインで進める方法についてのエピソードです。ドライブや Gmail でのオフライン機能の使い方をわかりやすく説明しています。



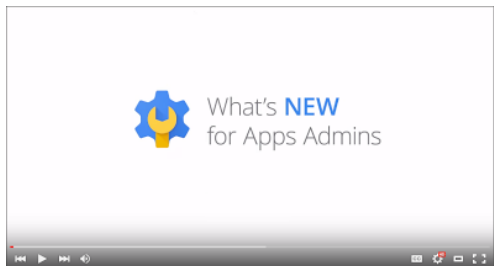
また、カレンダーを使った時間管理についてのエピソードでは、いかに集中力を保てるようプロジェクトをスケジュールリングし、「調整時間（Make Time）」を確保するかについてご紹介しました。4 月最後のエピソードでは、Google の社員がハングアウトの活用方法や最新機能について、実際にハングアウトを使いながら話し合っている様子をご紹介しました。

皆様にお願: ご覧いただいたエピソードの中に役に立つものがありましたら、ぜひ皆様の友だちや職場の皆様にもお知らせください。The Apps Show の YouTube 再生リストやエピソード ギャラリー（英語）をぜひブックマークに登録し、最新情報をご確認ください。

Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画

★ 管理者向けリソース

- [トップへ戻る](#) -



最新情報: Google Apps 管理者向けの最新情報についての動画では、前月にリリースした Google Apps 管理者向けのすべての機能をまとめて紹介しています。これらの動画はいつでもご覧になれます。また、共有することもできます。

使い方: [YouTube の再生リスト](#)をブックマークに登録し、毎月の新着動画をチェックします。「新機能」サイトの[アーカイブ](#)ですべての録画をご覧いただけます。

ニュースレターをお読みいただき、ありがとうございました。
より良いニュースレターをお届けするために、ぜひ皆様のご意見をお寄せください。